

発見！ジェンダーパネル NO.1

いつまで続く!?こんな生活



週間就業時間60時間以上（残業80時間以上 / 月）の雇用者割合において（右上図）、育児期にある30歳代から40歳代の男性の割合は他世代より高い状況が続いています。男女別に見ても（右下図）その差は大きく、男性の家事育児時間が国際的に最低水準のまま改善されない大きな要因の一つです。

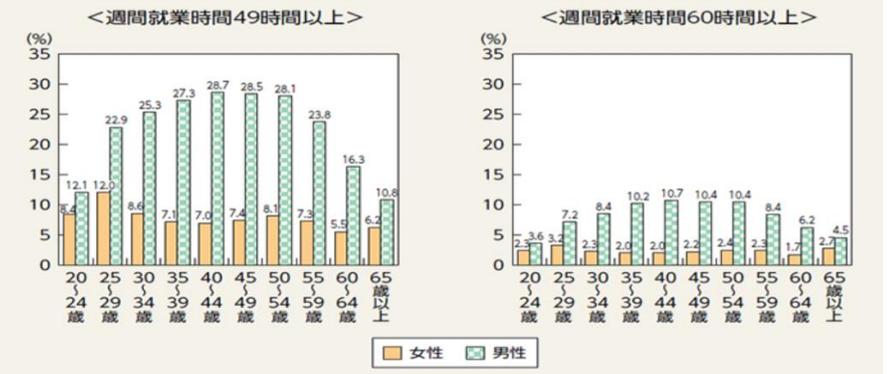
雇用者世帯の7割以上が共働きという中、仕事、家事、育児や介護、何重もの負担が女性に重くのしかかっているだろうことが容易に想像されます。従来の男性中心型労働慣行は、女性活躍推進の大きな障壁になるばかりか、過労死さえもたらしているのです。女性も男性も生活と仕事を調和させ、個性と能力を発揮して活躍できるよう、働き方を変えていかなければなりません。（2024.10）

週間就業時間60時間以上の雇用者の割合の推移



グラフ詳細はこちら↓

週間就業時間49時間/60時間以上の就業者の割合（男女、年齢階級別）



グラフ詳細はこちら↓

内閣府『令和6年版男女共同参画白書』より抜粋